

Panasonic

V2H蓄電システム

eneplat

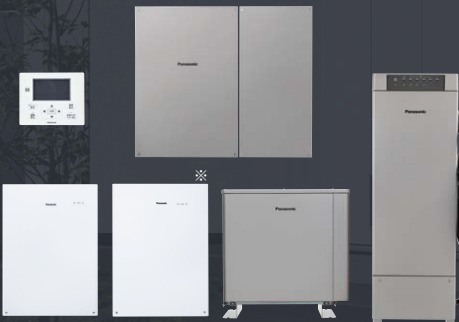
2023年2月21日受注開始

クリーンエネルギーでつながる
住まいのプラットフォーム誕生。

EVライフ、はじまる。



NEW V2H蓄電システム
eneplat

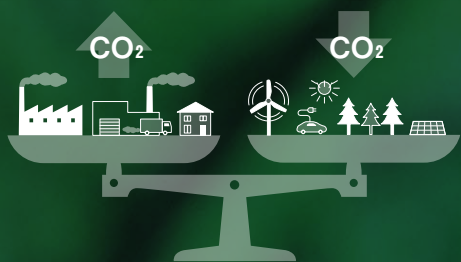


※蓄電池ユニット(6.7kWh・屋内)は2023年夏受注開始予定。
*「eneplat」はパナソニックグループの商標です。

地球環境のために、 いまからできること。

目指すのは脱炭素、 「カーボンニュートラル」の暮らし。

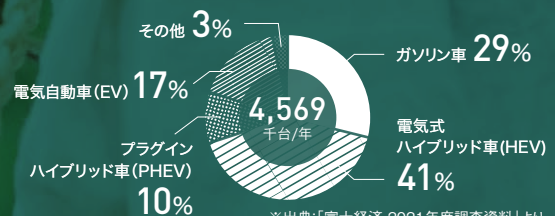
気候変動の原因になっている温室効果ガスを減らすため、世界が脱炭素「カーボンニュートラル」の社会を目指しています。カーボンニュートラル達成に向けて政府が掲げる「グリーン成長戦略」の中にもあるように、再生可能エネルギーと蓄電池を設置したスマートハウスの推進、そして電気自動車を普及した電化社会の実現が、これからの暮らしのテーマです。



すぐ目の前まで 来ている電気自動車の時代。

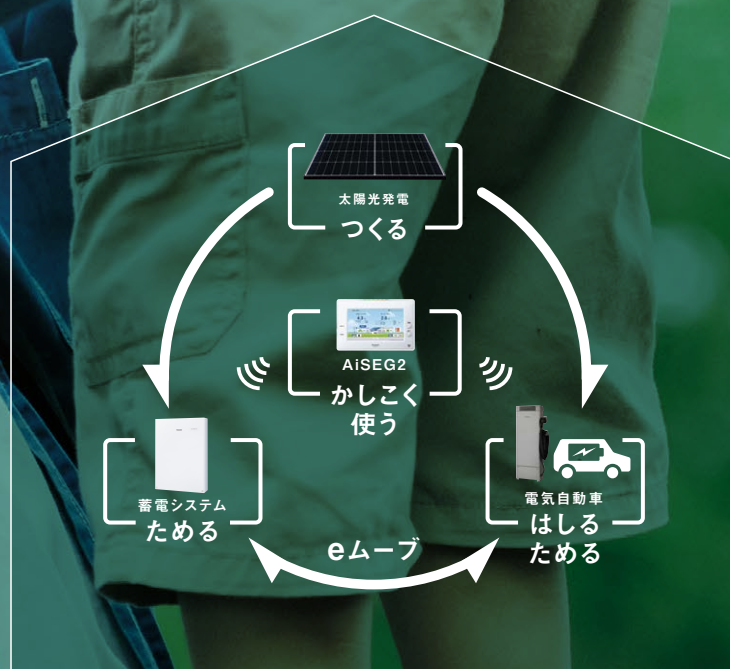
2030年代半ばに向けて、ガソリン車販売禁止と電気自動車へのシフトが進み、再生可能エネルギーの有効手段として電動化が加速します。また、再生可能エネルギーと電気自動車を連携させて住宅の中で双方向で使えるV2Hは、災害時の電源としての役割が期待されています。

乗用車の国内販売台数予測 (2035年)



これからのくらしは クリーンエネルギー 循環型。

太陽光がつくる電気を、
蓄電池や電気自動車にためて、
必要なときに自由に使う。
「クリーンエネルギーのプラットフォーム」を
パナソニックはご提案します。



自家消費

太陽光でつくる
電気をムダなく利用



レジリエンス

もしもの災害時でも
いつもの暮らしを支援



クリーンエネルギーを
家じゅうに、電気自動車に。



アップデート

将来の電気自動車ライフに
フレキシブルに対応



NEW V2H蓄電システム

eneplat

V2Hとは

Vehicle(車) to Home(家)の略で、電気自動車(EV)やプラグインハイブリッド車(PHV)に搭載されているバッテリーで蓄えた電力を家庭で使用するシステムの総称です。V2H蓄電システム「eneplat」は、日中、太陽光発電で生み出した電力を蓄電池または電気自動車に蓄え、夜間などに住宅内へ放電できる自家消費機能を搭載しています。また、蓄電池または電気自動車に蓄えた電力を、停電時のバックアップ用電源として住宅内で活用することもできます。

※蓄電池ユニット(6.7kWh・屋内)は2023年夏受注開始予定。

蓄電システム

太陽光発電と蓄電池が連携して
平常時も停電時も
効率よく電気を活用します



*2023年夏受注開始予定 ※パワーステーション1台につき蓄電池ユニットは2台まで設置可能、蓄電池ユニット1台につき蓄電池用コンバータが必要です。

連系出力6.0kW、自立出力6.0kVA^{※1}

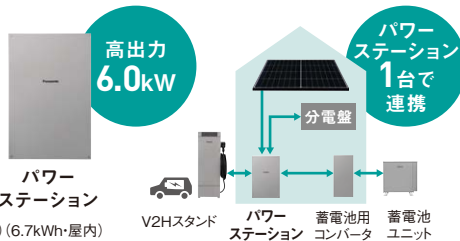
太陽光でつくった電気をムダなく活用、停電時もふだんに近い暮らしをご提供

新開発。高出力6.0kWのパワーステーション。スリムデザインですっきり設置。

[高出力 6.0kW]

高出力6.0kWで太陽光でつくった電気をたっぷり使えます。太陽光発電、蓄電池、電気自動車との連携もパワーステーション1台で対応可能。

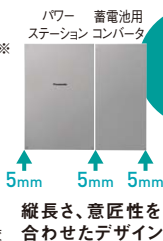
※1.蓄電池ユニット(6.3kWh・屋側)(6.7kWh・屋内)2台、または、V2Hスタンドがある場合。



[省スペース]

奥行サイズを従来より[※]約25%削減、左右の離隔距離を5mmにすることで、設置面積を削減し、省スペースでの設置を可能にしました。

※創蓄連携システムS+との比較



離隔距離 5mm

※
従来品
奥行 216mm
新商品
奥行 162mm

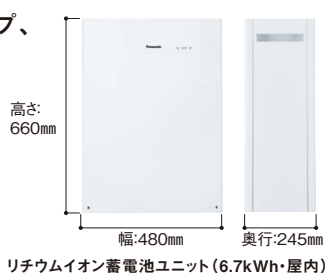
※パワーステーションS+(本体)

新開発。リチウムイオン蓄電池ユニット蓄電容量:6.7kWh*。高容量、高出力でコンパクトデザイン。

従来品^{※2}よりも蓄電容量20%アップ、停電時自立出力3.0kVAにより、使える機器が増え、平常時は自家消費に貢献します。

※2.リチウムイオン蓄電池ユニット(5.6kWh・屋内)品番:LJB1256との比較。

*2023年夏受注開始予定



3.5kWhと組み合わせればさらに大容量! 10.2kWh

蓄電池ユニット3.5kWhと組み合わせても高さピッタリ、すっきり設置可能です。

くらしや設備に合わせて多彩なバリエーションの蓄電容量が選択可能。

蓄電池ユニット(3.5kWh屋内、6.7kWh屋内、6.3kWh屋側)を組み合わせることで、ライフプランに合わせ、最適な容量を選べます。

蓄電池なし	蓄電池ユニット 3.5kWh×1台	蓄電池ユニット 6.3kWh×1台 (屋側)	蓄電池ユニット 6.7kWh×1台※3	蓄電池ユニット 3.5kWh×1台 / 6.7kWh×1台※3	蓄電池ユニット 6.3kWh×2台 (屋側)	蓄電池ユニット 6.7kWh×2台※3
蓄電容量	3.5kWh	6.3kWh	6.7kWh	10.2kWh	12.6kWh	13.4kWh
自立出力	2.0kVA	2.0kVA	3.0kVA	3.0kVA	5.0kVA	6.0kVA

*蓄電池の組み合わせで7.0kWh、9.8kWh、13.0kWhにも対応しています。 ※3.リチウムイオン蓄電池ユニット(6.7kWh・屋内)品番:LJB1367を含むシステムは2023年夏以降に対応します。

自家消費

蓄電池を有効活用できる3つの運転モード

蓄電池を有効活用できる3つの運転モードを搭載し、ライフスタイルにあった電気の使い方をサポートします。

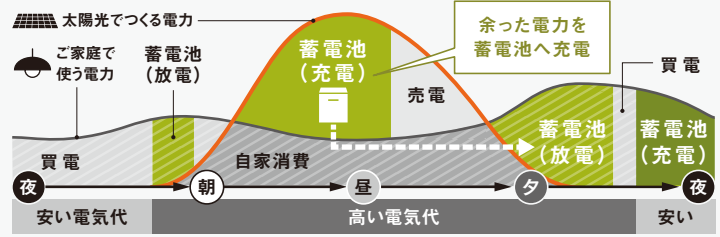
*ご契約の電気料金メニューや、運転モード設定によっては、深夜の使用電力が上昇することで基本料金が上がる可能性があります。

※4.運転モード設定時、放電下限設定・蓄電池充電上限設定・充放電時間帯などの設定を行います。充電時間帯は電気料金が安い深夜時間帯などに設定することができます。蓄電池充電上限設定値は放電下限設定値に合わせて設定可能な範囲が異なります。

※5.電力単価はご契約の電力会社にご確認ください。

■ NEW 自家消費モード(充電時間設定あり) ※4

太陽光の余剰電力を自家消費。さらに安価な深夜電力※5を充電し、光熱費削減をサポートします。



■ 自家消費モード(充電時間設定なし)

太陽光の余剰電力を最大限活用し、電力会社からの買電を抑制します。

■ タイマーモード

太陽光で発電した電力を売電したい方、安い深夜電力※5を活用したい方に。

太陽電池モジュール最大搭載容量もアップ

従来品 ※6

太陽電池モジュール最大搭載容量

8.25kW ▶

新商品

太陽電池モジュール最大搭載容量

9.0kW

※6.パワーステーションS+(本体) ※太陽電池モジュールの出力電力によって、実現できる最大容量が異なります。

レジリエンス

全回路に対応した100V/200Vを標準搭載、業界トップクラス※7 停電時自立出力最大6.0kVA ※8

停電時もエコキュート、IHクッキングヒーター、エアコンが使える200Vに対応。従来品※9よりパワーアップした最大6.0kVA ※8まで対応。

常時使用したい機器



温かいご飯の用意、または湯沸かしが可能



※7.国内の単相タイプの蓄電システム、および住宅用V2Hシステムの定格自立出力において(2022年11月25日時点 当社調べ) ※8.蓄電池ユニット(6.3kWh・屋外)(6.7kWh・屋内)2台、または、V2Hスタンド設置時 ●蓄電池ユニット3.5kWh、蓄電池ユニット6.7kWhとの組合せ(蓄電容量 10.2kWh)の場合は自立出力5.0kVAです。●停電時、同時に使用可能な電力は合計6.0kVAまで。バックアップ回路のご使用機器全体の消費電力が自立出力より大きい場合は運転を停止します。●エコキュートなど自動運転する機器をバックアップする場合は、夜間などに蓄電池残量がなくなり、パワーステーションが自立運転を停止する場合があります。導入前に機器の自動運転を休止する操作が可能をご確認ください。●当社製エコキュートに関しては自立運転時に動作する事を確認しています。停電時に他の機器の使用を優先する場合は自動運転を休止してください。休止中にお湯を沸かす場合は休止設定を解除し手動で沸かし増してください。 ※9.創蓄連携システムS+の蓄電池2台構成との比較。

停電時の電気の使い方によって特定回路、全回路が選択可能



特定回路のみ電気が使えます



AC100V/200Vで全回路が使えます※10 ※11

※10.分電盤の主幹ブレーカーに合わせた電力切替ユニットを設置してください。[100A以下]電力切替ユニット(100Aタイプ)品番:LJTS1A01 [60A以下]電力切替ユニット(60Aタイプ)品番:LJTS1601K。 ※11.停電時のご使用機器全体の消費電力がシステムの自立出力より大きい場合は運転を停止します。

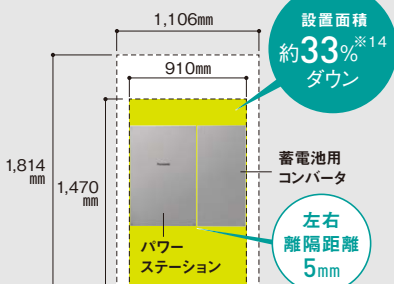
省スペース

小さな面積に設置可能、しかもスマートな薄型

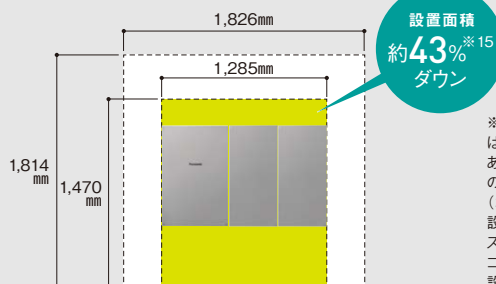
■ 必要な離隔距離を含めた設置面積※12(従来品※13との比較)

■ 新商品 ■ 従来品

蓄電池ユニット1台設置の場合



蓄電池ユニット2台設置の場合



※12.住宅外壁の強度や構造によっては、上記の設置面積とならない場合があります。 ※13.創蓄連携システムS+との比較。 ※14.パワーステーションS+(本体)1台、蓄電池用コンバータ1台設置した場合の比較。 ※15.パワーステーションS+(本体)1台、蓄電池用コンバータ2台、200Vトランスユニットを設置した場合の比較。

*「パワーステーション」はパナソニックグループの登録商標、「エコキュート」は関西電力(株)の登録商標です。

V2Hシステム

これからの電気自動車は、
おうちで充電、
クリーンエネルギーを活用します

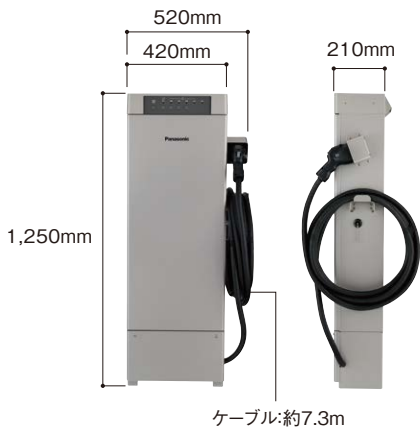


*接続可能な電気自動車は、当社公表の対応車種に限ります。対応車種については、2023年2月当社ホームページにて公開予定です。

最大6.0kWのスピード充電が可能、 快適な電気自動車ライフをサポート

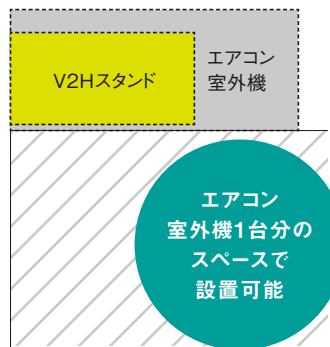
コンパクトで駐車スペースを有効に活用可能。

コンパクトなV2Hスタンド



当社製エアコン室外機との比較

■上面から見た図



※当社製エアコン室外機3.6kW~4.0kWタイプとの比較

柔軟性が高く取り扱いやすい 充電ケーブル

充電ケーブルは柔軟性が高く、電気自動車の充電時、ケーブル収納時にも取り扱いがしやすいです。

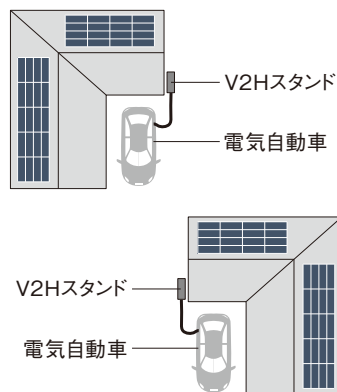


充電ケーブルの取り出し箇所を 左右いずれかから選択可能※



※充電コネクタホルダーの取り付け箇所の変更には工事が
必要です。

住宅レイアウトや 電気自動車の充電口に対して、 利用しやすい場所に設置が可能



充電コネクタを車に差し込みV2H スタンドの運転操作により充電ができます



V2Hスタンド本体に「充電ケーブル」を装備
しているので、車載ケーブルを取り出す必要
がありません。

自家消費

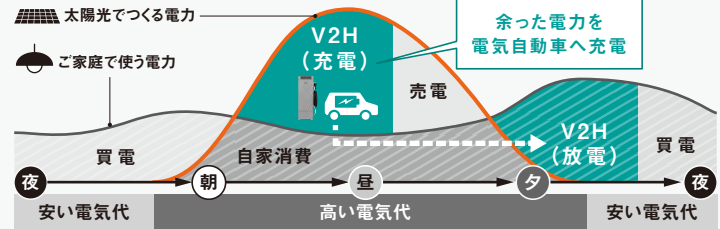
充放電出力最大6.0kW

太陽光の余った電気をたっぷり充電、自家消費をサポート

日中に電気自動車が自宅にあれば、太陽光でつくった電気を電気自動車に蓄えておき夜間に使用できるので、電力会社から買う電気を減らすことができます。さらに電気自動車に蓄えた電気は家庭内でも使うことができるので、自家消費に貢献します。

■自家消費モード(充電時間設定なし)

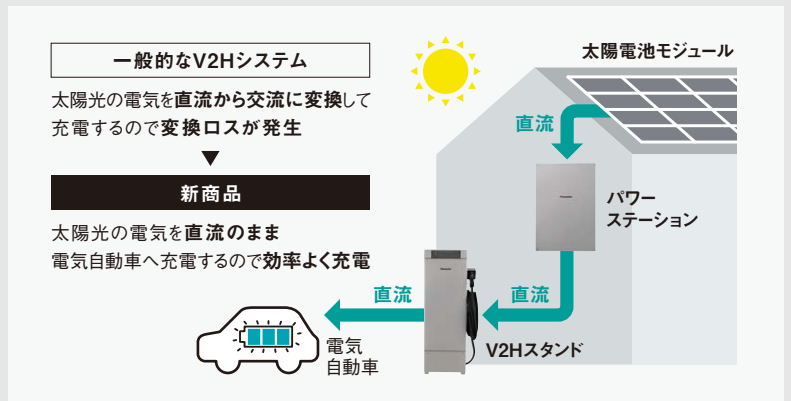
環境にやさしい生活をおくるため、太陽光の余剰電力を最大限活用できます。



*自家消費モード(充電時間設定あり)、タイマーモードも選択可能です。

太陽光でつくる電気(直流)をそのまま充電でき効率的

太陽光でつくった電気は直流(DC)で電気自動車に直接充電可能。効率よく充電できるので、さらに自家消費に貢献します。



レジリエンス

停電時自立出力 業界トップクラス^{※1} 最大6.0kVA^{※2}

停電時もエコキュート、IHクッキングヒーター、エアコンが使える200Vに対応。最大6.0kVA^{※2}まで対応。

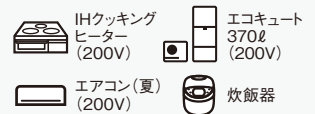
停電時でも電気自動車が家があれば



常時使用したい機器



温かいご飯の用意、または湯沸かしが可能



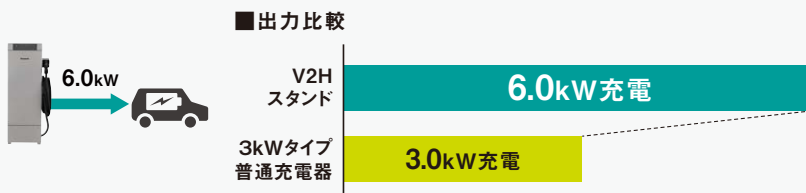
※1.国内の单相タイプの蓄電システム、および住宅用V2Hシステムの定格自立出力において(2022年11月25日時点 当社調べ) ※2.●停電時、同時に使用可能な電力は合計6.0kVAまで。バックアップ回路のご使用機器全体の消費電力が自立出力より大きい場合は運転を停止します。●エコキュートなど自動運転する機器をバックアップする場合は、夜間などに蓄電池残量が無くなり、パワーステーションが自立運転を停止する場合があります。導入前に機器の自動運転を休止する操作が可能かご確認ください。

スピード充電

充電は最大入力6.0kW、スピード充電^{※3}

最大6.0kWで充電が可能なので、充電待ち時間を短縮。

6.0kW充電で倍速充電^{※4}。短時間での充電が可能となります。



※3.接続可能な電気自動車は、当社公表の対応車種に限り。対応車種については、2023年2月当社ホームページにて公開予定です。
※4.当社従来品の3.0kWタイプ普通充電器で充電した場合との最大電力の比較。
●配線設計や現在の電源容量の余裕状況により、電力契約の見直しが必要になる場合があります。

V2H蓄電システム

太陽光でつくった電気を
ためて使って、動かして
自家消費のくらし方へ



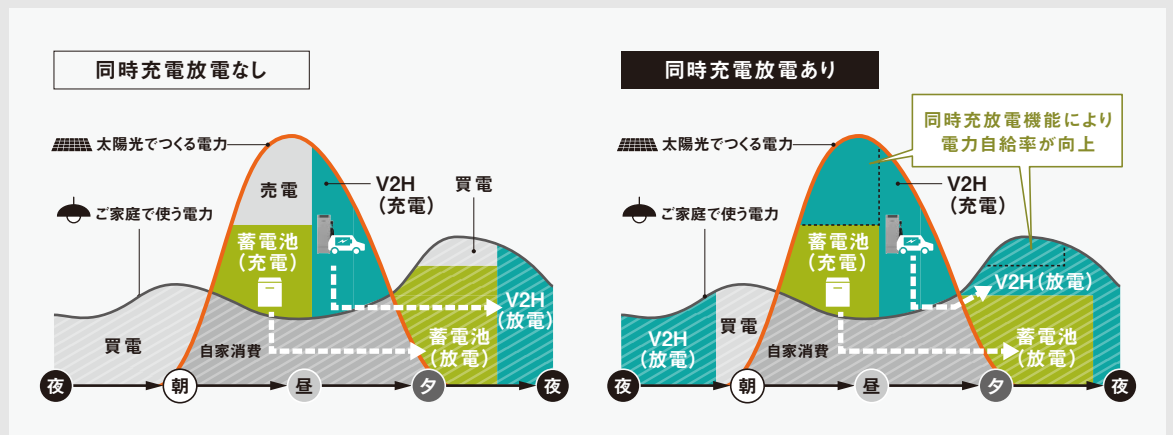
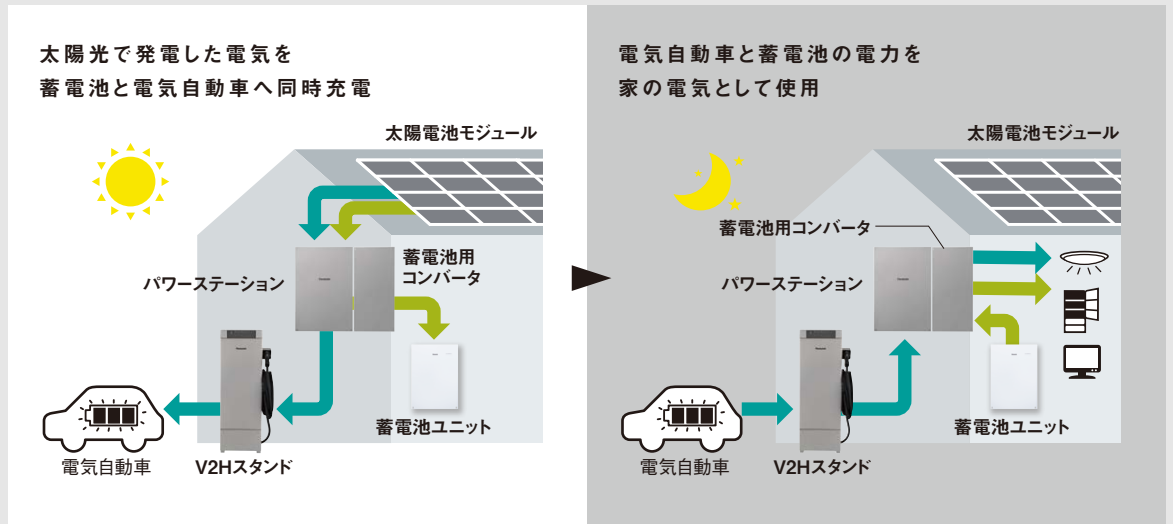
*接続可能な電気自動車は、当社公表の対応車種に限ります。対応車種については、2023年2月当社ホームページにて公開予定です。

※1.2023年夏受注開始予定

自家消費

業界初^{※2} 電気自動車と蓄電池を同時充放電、自家消費を促進

太陽光で発電した電力の余った電気を蓄電池と電気自動車に同時充電可能。
より多くの太陽光の電気を有効活用します。



※2.国内の住宅用DC連携タイプV2H蓄電システムの2022年11月25日時点で発売済みの商品において(2022年11月25日時点 当社調べ)

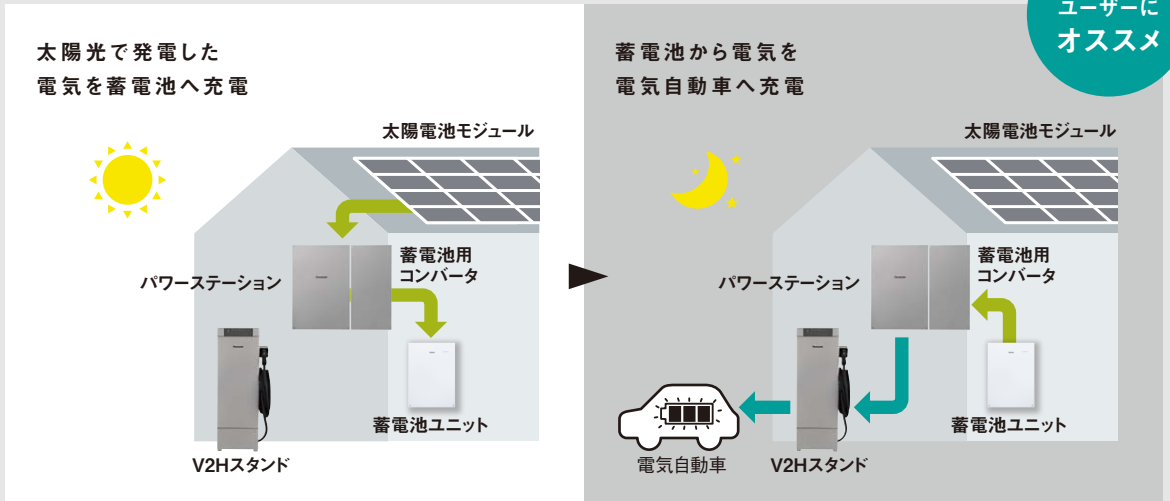
自家消費

毎日の電気自動車のエネルギーは「eムーブ」^{※3}でクリーンエネルギーを

日中に電気自動車が自宅になれば太陽光で発電した電力を蓄電池に充電。

夜間に蓄電池から電気自動車へ、クリーンな電力を充電可能。太陽光で発電したクリーンエネルギーで移動できます。

eムーブ:電気自動車と蓄電池の電気を相互に充放電



※3.「eムーブ」はパナソニックグループの商標です。eムーブを使用するには、リモコン操作が必要です。

レジリエンス

蓄電池と電気自動車で家じゅうバックアップ

蓄電池・電気自動車の電気を利用し、停電時バックアップが可能です。

また、電気自動車を外出に利用している場合は、蓄電池からバックアップします。

■電気自動車が家にある場合

蓄電池と電気自動車から宅内へ電力供給



■電気自動車を移動に活用している場合

蓄電池で宅内に電力供給、電気自動車は避難所などで電力供給が可能



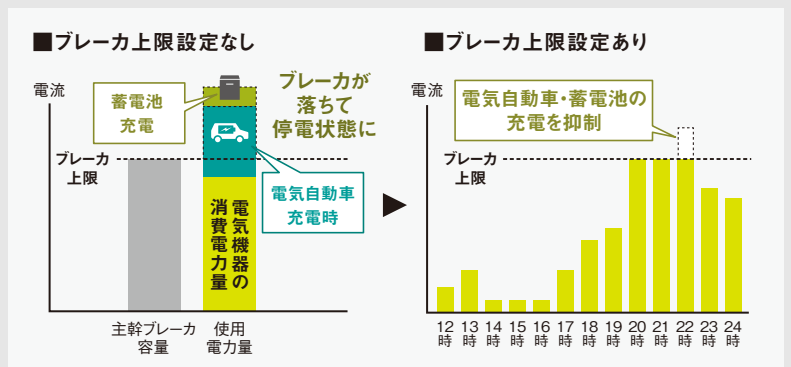
電気自動車でも帰宅後、蓄電池残量に余裕があれば宅内へ電力供給に加え、蓄電池へ充電も可能



快適

ブレーカ電流上限設定で電気自動車ライフを快適に

電気自動車の充電により消費電力が増え、ご家庭の主幹ブレーカ容量をオーバーするとブレーカが落ちてしまい、停電状態になってしまう場合があります。V2H蓄電システムeneplatはご家庭の主幹ブレーカ容量、契約容量を超えないように電気自動車・蓄電池への充電電力を制御^{※4}し、ブレーカの遮断を防止します。



※4.ご家庭の主幹ブレーカ容量・契約電力を事前に設定が必要です。

AiSEG2 + V2H 蓄電システム

すまいの
「できたらいいな」を
当たり前



*接続可能な電気自動車は、当社公表の対応車種に限ります。対応車種については、2023年2月当社ホームページにて公開予定です。

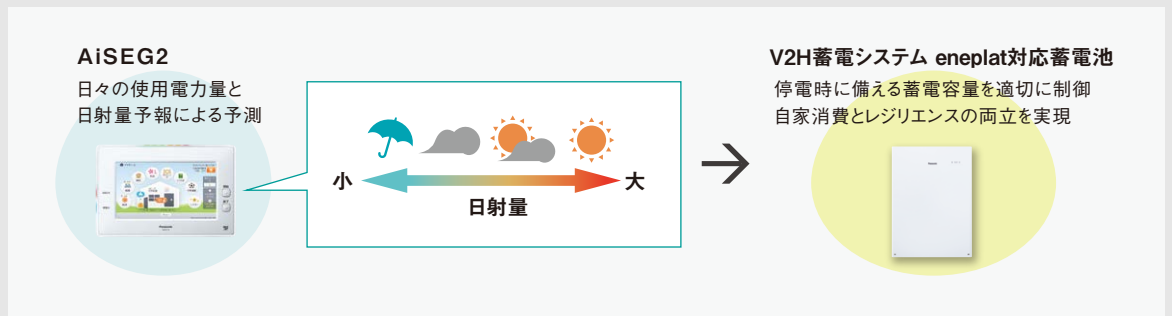
※1.2023年夏対応開始予定
※2.2023年夏受注開始予定

自家消費

AiSEG2とV2H蓄電システムeneplatの蓄電池が連携、 「AIソーラーチャージPlus^{※3}」で自家消費を向上

2023年夏 対応開始予定

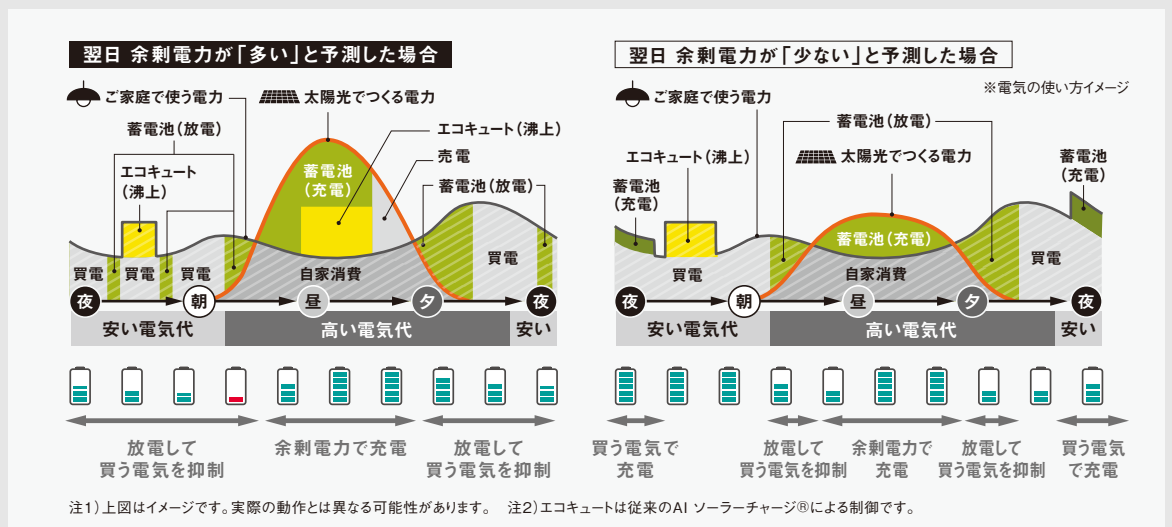
AiSEG2が日々の使用電力量と日射量予報を元に余剰電力量を予測し、蓄電池の充放電を自動制御、自家消費向上に貢献します。



※3.AIソーラーチャージPlusは、eneplatに太陽光/蓄電池の接続が必要です。

日射量予報による予測と停電時確保容量を制御することで「自家消費向上とレジリエンスの両立」を可能に

蓄電システムは停電時の蓄電容量を確保するため、予め放電下限値を設定し、平常時は放電下限値以下を放電しないように設定します。AIソーラーチャージPlusは、翌日余剰電力が「多い」と予測した場合、太陽光発電を加味して停電時に必要な電力を確保しながら蓄電池を制御します。また翌日余剰電力が「少ない」と予測した場合は深夜の安い時間帯の電気を充電し、高い電気の買電を抑制します。



注1)上図はイメージです。実際の動作とは異なる可能性があります。注2)エコキュートは従来のAIソーラーチャージ®による制御です。

- AIソーラーチャージPlusの対応機種は、パナソニック製V2H蓄電システム eneplatの蓄電池です。
- AIソーラーチャージ®の対応機種は、パナソニック製エコキュート(ソーラーチャージ機能搭載)(無線接続のみ)、パワーステーションS+、ELSEEV hekia S Mode3 AiSEG連携タイプ/機器連携タイプです。

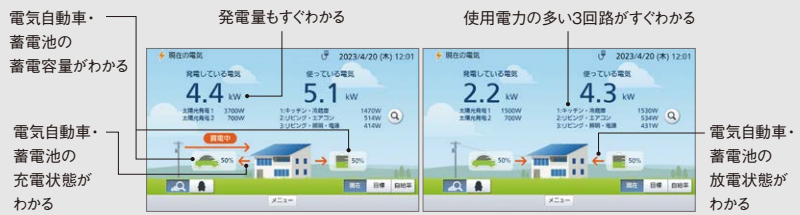
*AIソーラーチャージPlusについては、P14のご注意をご覧ください。 *「AiSEG」および「ソーラーチャージ」はパナソニックグループの登録商標です。

自家消費

AiSEG2連携で電気自動車、蓄電池の状態が見える化

2023年3月末 対応開始予定

電気自動車や蓄電池の充放電状態や蓄電池残量がリアルタイムで表示。わが家の電力自給率がわかってエコを実感できます。



レジリエンス

AiSEG2で気象警報と連動して

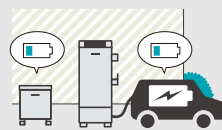
事前に電気自動車と蓄電池へ充電開始

2023年夏 対応開始予定

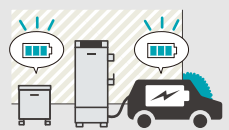
停電に備えて、事前に電気自動車と蓄電池に充電しておくことで、万が一に備えます。

AiSEG2があれば...

大雨や暴風などの警報が発せられると



停電に備え自動で電気自動車と蓄電池に充電



注1) 充放電用コネクタが車に挿しこまれており、コネクタロック状態になっている必要があります。注2) サーバーサービス(無料)の登録が必要です。注3) 警報発令時に自動制御が行われるため、電気料金が高くなる場合があります。気象データや通信回路などに問題が発生した場合には本機能が正常に動作しない場合があります。注4) 気象警報を連動させる場合、蓄電池はパナソニック製V2H蓄電システム eneplat、パワーステーションS+、リチウムイオン蓄電システム スタンドアロンタイプ(3.5kWh)のいずれかが対象です。V2Hはパナソニック製 V2H蓄電システム eneplatが対象です。

停電時でもつくった電気をかきこく活用できる

2023年3月末 対応開始予定

停電が発生するとエコキュートの自動沸き上げを停止して、蓄電池の電気を他の必要な機器で使えます。



注) 停電時出力100/200Vタイプのパナソニック製V2H蓄電システム eneplatあるいはパワーステーションS+とパナソニック製エコキュート(パナソニック独自無線接続もしくは無線LAN接続)あるいは他社製エコキュートの組み合わせ使用時のみ可能です。

停電時に使用できる電力情報が見えて安心

2023年3月末 対応開始予定

停電時は、電気自動車と蓄電池の電気が利用でき、電気使用量がモニターで確認できます。さらに、残りの使用可能時間もわかるので安心です。



[停電時]

電気自動車と蓄電池にためた電気で



※5.対応機種は、パナソニック製V2H蓄電システム eneplatです。

注) AiSEG2を停電時にも使用したい機器に配線設計しておく必要があります。

時短・便利

外出先からスマートフォンで電気自動車の手動充電ができる

2023年夏 対応開始予定

外出先からスマートフォンで電気自動車の手動充電が可能です。帰宅前に電気自動車の充電残量や接続状況がわかるので、充電残量が足りない場合には事前に充電開始ができ便利です。

AiSEG2があれば...

充電残量が少ないから今のうちに充電開始しておこう!



注1) 充放電用コネクタが車に挿しこまれており、コネクタロック状態になっている必要があります。注2) スマートフォンから蓄電池を運転しながら電気自動車の充電操作をするためには、AiSEG2の画面から蓄電池運転モードを「カスタム運転」もしくは「AI制御」に設定する必要があります。蓄電池が待機状態になる場合があります。注3) 手動解除をすると、AiSEG2で設定した運転モードに戻ります。対応機種はパナソニック製V2H蓄電システム eneplatです。

EV・PHEV充電用 充電器

ELSEEV hekia S Mode3

充電時の最大出力を高めた
6 kW充電型をラインアップ。

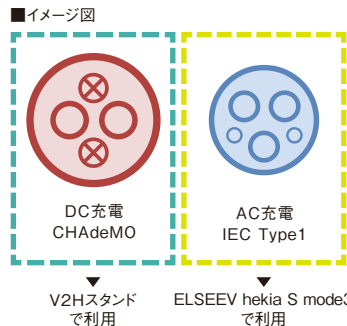
充電ケーブル、CPLT機能^{*1}を搭載



購入した電気自動車に合わせて選べる充電設備。

ELSEEV は外国車でも国産車でも対応できる^{**2}「充電専用」タイプ

V2HスタンドとELSEEV
は電気自動車の充電口が
異なります。V2Hスタンドに
対応していない自動車でも
普通充電の充電口を利用し、
充電が可能な場合があります。^{**2}



V2Hスタンド(直流)



普通充電器(交流)



【ご注意】 ELSEEVには電気自動車に蓄えた電気を住宅内へ給電する機能はありません。

^{*1}CPLT機能(コントロールパイロット機能):普通充電設備と電気自動車とが確実に接続されたことを確認し、充電を開始

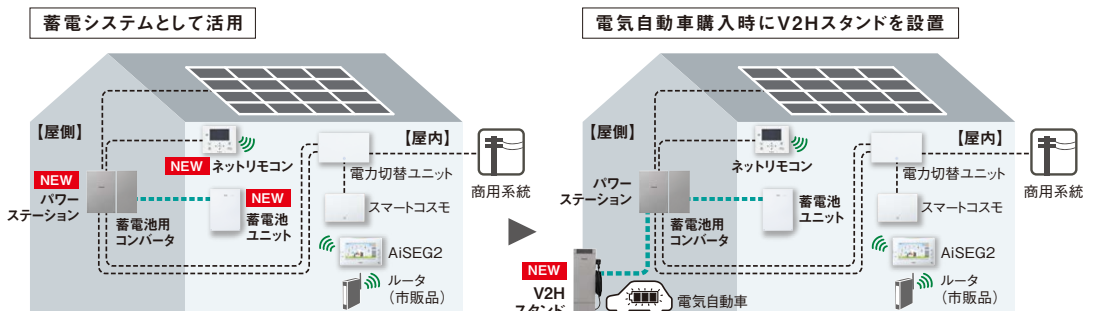
^{**2}ELSEEV hekia SはIEC61851-1 ed.3.0 Annex Aに準拠しています。また、充電用コネクタはIEC62196-2 ed.2.0 Type1に準拠しています。車種によっては充電できない場合があります。

UPDATE

将来の暮らしに合わせて施工は最小限で機器を追加可能

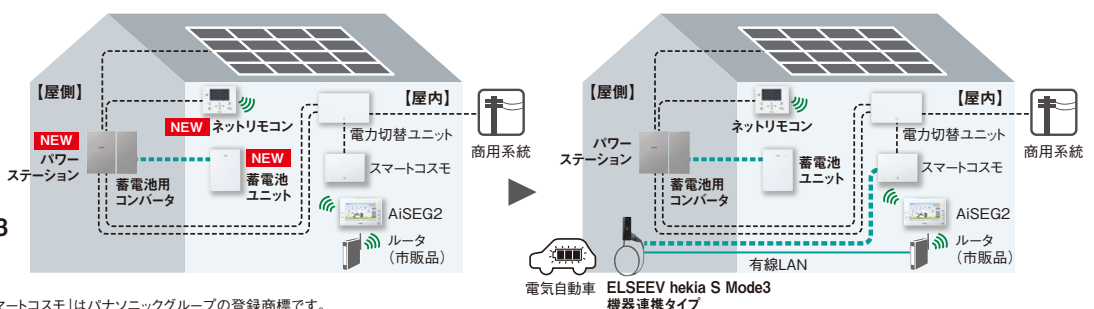
脱炭素で
エネルギーの自給自足な
くらしがしたい方

蓄電システムを設置後、
後から屋内外間の
配線なしで
V2Hスタンドを増設



クリーンなエネルギーを
利用し、
電気自動車で走りたい方

環境貢献&
停電にも備えたい
ELSEEV hekia S Mode3
機器連携タイプを増設

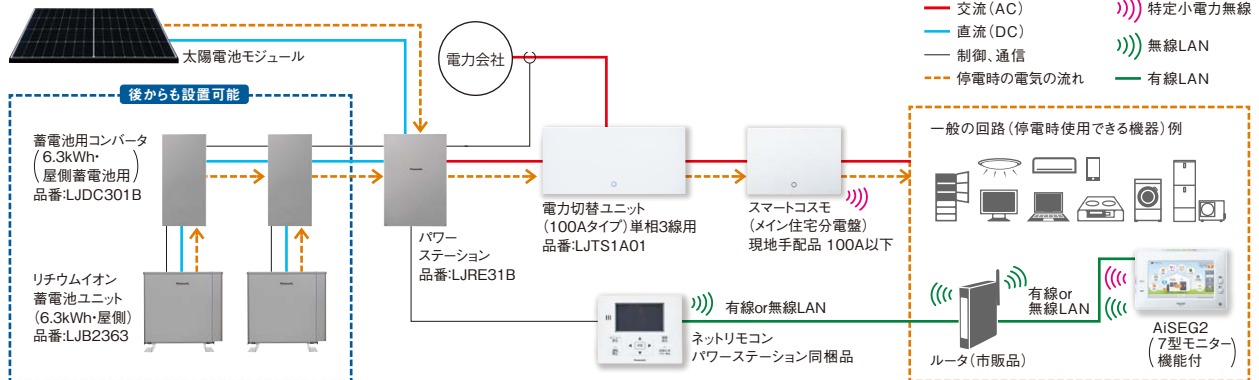


^{*}「ELSEEV」および「ELSEEV hekia」、「スマートコスモ」はパナソニックグループの登録商標です。

システム構成図

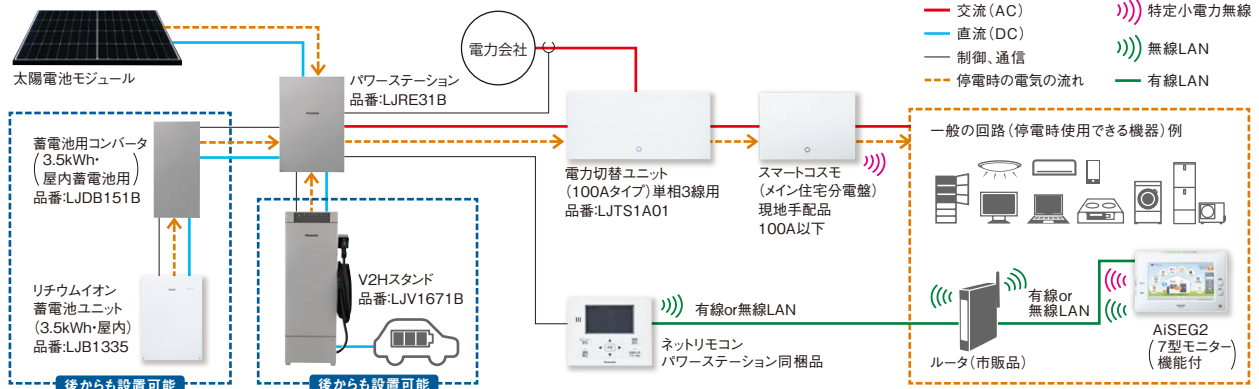
蓄電容量:12.6kWh プラン例 蓄電システム+電力切替ユニット(100Aタイプ)単相3線用 メイン住宅分電盤の一次側設置の場合

システム構成 停電時出力100/200V(自立出力6.0kVA) 蓄電容量12.6kWh[LJB2363×2台(6.3kWh+6.3kWh)]の例



電気自動車(EV) 蓄電容量:3.5kWh プラン例 V2H蓄電システム+電力切替ユニット(100Aタイプ)単相3線用 メイン住宅分電盤の一次側設置の場合

システム構成 停電時出力100/200V(自立出力6.0kVA) 蓄電容量3.5kWh[LJB1335×1台]の例



注)●電力切替ユニット(100Aタイプ)単相3線用 品番:LJTS1A01の定格電流は100Aです。●停電時、同時に使用可能な電力は合計6.0kVAまで。バックアップ回路のご使用機器全体の消費電力が自立出力より大きい場合は運転を停止します。●エコキュートなど自動運転する機器をバックアップする場合は、夜間などに蓄電池残量が無くなり、パワーステーションが自立運転を停止する場合があります。導入前に機器の自動運転を休止する操作が可能かご確認ください。●当社製エコキュートに関しては自立運転時に動作する事を確認しています。停電時に他の機器の使用を優先する場合は自動運転を休止してください。休止中にお湯を沸かす場合は休止設定を解除し手動で沸かし増してください。●システム導入により契約電力の変更が必要になる可能性があります。

ご購入にあたって

- 本カタログの希望小売価格には、配送・設置調整費・工事費、使用済み商品の引き取り費等は含まれておりません。●商品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。●印刷物と実物とは多少色味が異なる場合があります。あらかじめご了承ください。●このカタログの内容についてのお問い合わせは、お近くの販売店にご相談ください。●電力系統側(住宅に電力を供給するための経路や設備等)の状況により、逆流電力(需要者側から電力系統側に送り返す電力)が制限され、太陽光発電システムからの売り電量が少なくなる場合があります。そのとき、パワーコンディショナの「抑制ランプ」が点灯(点滅)します。電力系統側の電圧が正常にもどれば「抑制ランプ」は消えますが、このような状況が頻繁に発生する場合は、電力系統側との調整が必要であるため、販売店または電力会社にご相談ください。また、その対策費用をお客様にご負担いただくことがあります。創蓄連携システムのパワーステーションの場合は、リモコン設定器に「抑制」が表示されます。●蓄電システムを同一場所に複数設置することにより「設置届出」を所轄の消防署に提出が必要な場合もあります。対処方法の詳細内容は各都道府県の所轄消防署にお問い合わせください。●積雪により製品が埋没する場所には設置および接続はできません。(積雪地域の掘り付けの場合は、屋根・囲いなどを設けてください。●蓄電池に充電した電気は売電できません。●太陽光が売電中には蓄電池からの放電は行いません。●蓄電池の放電により使用電力をまかなう場合も、蓄電池からの売電防止のために常に0.1kW前後は買電します。●太陽光発電システムの余剰買取契約専用です。全量買取契約はできません。

リチウムイオン蓄電システムのご注意

- 医療機器・防犯機器・デスクトップパソコン・生物や生体組織の飼育・培養・保管機器・医療品類の保管用冷蔵庫など、電源が切れると生命や財産に損害を受けるおそれのある機器を使用しないでください。●停電から復帰したときに自動的に運転を開始する暖房機器・電熱機器は、接続しないでください。●電気機器のなかには電源投入時に大きな電流が流れるものがあります。そのときには、保護機能が働き停止することがあります。●蓄電システムから供給される自立出力は、系統電源と完全に同一ではありません。位相制御するタイプの調光器具などは、自立出力でお使いの際に平常時と動作が異なる場合があります。例えば、調光器具の場合は、調光レベルによってちがいが発生する場合があります。その時は調光レベルを調節してご使用ください。●発電機等の出力を系統電源として蓄電システムに入力することはできません。また、蓄電システムの自立出力を発電機等と接続することはできません。

AIソーラーチャージPlus/AIソーラーチャージ®についてのご注意

- AIソーラーチャージPlusは、日射量予測データを基に発電量を予測し、蓄電池の残容量と予測した発電量から、蓄電池の充放電制御を行います。●AIソーラーチャージPlusの対応機種は、パナソニック製V2H蓄電システム eneplatの蓄電池です。●AIソーラーチャージ®は、翌日の天気予報が「晴れ」の時間帯で発電量を予測し、使用電力量と沸き上げに必要な電力量が発電量でまかなえると判断した場合に実施されます。不足する場合は、実施しません。●AIソーラーチャージ®の対応機種は、パナソニック製エコキュート(ソーラーチャージ機能搭載)(無線接続のみ)、パワーステーションS+、ELSEEV hekia S Mode3 AiSEG連携タイプ/機器連携タイプです。●実際の動作とは異なる可能性があります。●AIソーラーチャージ®は、実際の天気や電力の使用状況が前日の18時時点の予測より異なった場合、買電が発生する可能性があります。●スマートコスモまたはエコネットライト対応計測ユニットが必要です。●ELSEEV hekia S Mode3を接続する場合には、AiSEG2のファームウェアがVer.2.50以降、スマートコスモ(マルチ通信型)またはエコネットライト対応計測ユニットのファームウェアがVer.01.00.00以降であることが必要です。●余剰電力で沸き増し運転を実施中にAiSEG2の電源が落ちた場合、一時的に余剰電力がない状態でも沸き増し運転を継続する場合があります。●太陽光発電の全量買取・充電方式を利用する場合は使用できません。●サーバーサービス(無料)の登録が必要です。●エコキュートは外気温が低い場合には、機器保護のために凍結予防運転を行うことで、設定した運転時間を沸き上げることができます。

機器仕様

品名		V2H蓄電システム eneplat					
蓄電容量※1	3.5kWh	6.3kWh	6.7kWh※2	10.2kWh※2	12.6kWh	13.4kWh※2	
太陽光入力回路数	4回路						
太陽光入力最大電流(直流)	13.0A/1入力						
太陽光発電電力変換効率	96.5%(定格入力電圧DC330V 入力時、力率0.95、JIS C 8961による)						
系統連系入出力(交流)	6.0kW						
蓄電池単独時(自立出力)	放電時	1.5kW	3.0kW	3.0kW	4.5kW	6.0kW	6.0kW
	充電時	1.0kW	3.0kW	2.0kW	3.0kW	6.0kW	4.0kW
電気方式/定格出力電圧(交流)	—	単相3線式 100/200V					
	—	2.0kVA	3.0kVA	3.0kVA	5.0kVA※3	6.0kVA※3	6.0kVA※3
V2Hシステム下	入出力(交流)	6.0kW					
	放電時(交流)	6.0kW					
	放電時(交流)	6.0kVA(片相:3.0kVA)					

品名		V2Hスタンド(6.0kW)					
品番	LJV1671B						
設置場所	屋外						
充放電ケーブル長(コネクタは除く)	約7.3m						
外形寸法 [mm]	W420×H1,250×D210(突起部除く)						
質量	約55kg(充放電ケーブル含む)						
使用温度範囲	-20℃～50℃						
希望小売価格	1,760,000円(税抜1,600,000円)						

品名	蓄電池用コンバータ 3.5kWh(屋内蓄電池用・一般)	蓄電池用コンバータ 3.5kWh(屋内蓄電池用・耐塩)	蓄電池用コンバータ※5 6.7kWh(屋内蓄電池用・一般)	蓄電池用コンバータ※5 6.7kWh(屋内蓄電池用・耐塩)	蓄電池用コンバータ 6.3kWh(屋側蓄電池用・一般)	蓄電池用コンバータ 6.3kWh(屋側蓄電池用・耐塩)
品番	LJDB151B	LJDB152B	LJDB301B	LJDB302B	LJDC301B	LJDC302B
仕様	一般仕様	耐塩害仕様	一般仕様	耐塩害仕様	一般仕様	耐塩害仕様
設置場所	屋側壁面					
外形寸法 [mm]	W370×H770×D162(取付板を含む)					
質量	約20kg(取付板を含む)					
使用温度範囲	-20℃～50℃(直射日光があたらないこと)					
希望小売価格	407,000円(税抜370,000円)	419,100円(税抜381,000円)	407,000円(税抜370,000円)	419,100円(税抜381,000円)	407,000円(税抜370,000円)	419,100円(税抜381,000円)

品名	パワーステーション (6.0kW・一般)	パワーステーション (6.0kW・耐塩)
品番	LJRE31B	LJRE32B
仕様	一般仕様	耐塩害仕様
設置場所	屋側壁面	
系統連系入出力(交流)	6.0kW	
自立出力(交流)	200V接続時	6.0kVA※4(片相:3.0kVA)
	100V接続時	3.0kVA※4
外形寸法 [mm]	W525×H770×D162(取付板を含む)	
質量	約35kg(取付板を含む)	
使用温度範囲	-20℃～50℃(直射日光があたらないこと)	
希望小売価格	968,000円(税抜880,000円)	993,300円(税抜903,000円)

品名		ネットリモコン(パワーステーション同細目)	
設置場所	屋内		
設置方法	壁掛け		
外形寸法 [mm]	W148×H120×D26.7		
質量	約0.31kg		
使用温度範囲	-20℃～50℃		

品名	リチウムイオン蓄電池ユニット (3.5kWh・屋内)	リチウムイオン蓄電池ユニット※5 (6.7kWh・屋内)	リチウムイオン蓄電池ユニット (6.3kWh・屋側)
品番	LJB1335	LJB1367	LJB2363
設置場所	屋内		
定格容量	3.5kWh	6.7kWh	6.3kWh
外形寸法 [mm]	W480×H660×D139	W480×H660×D245	W649×H646×D333(脚部を含み、突起部を含み)
質量	約46kg	約70kg	約85kg
動作温度範囲※6	0℃～40℃	0℃～40℃	-10℃～40℃
設置温度範囲	—	—	-20℃～50℃(直射日光があたらないこと)
希望小売価格	1,144,000円(税抜1,040,000円)	2,090,000円(税抜1,900,000円)	2,035,000円(税抜1,850,000円)

※1.組み合わせによっては、7.0kWh・9.8kWh・13.4kWhも対応可能です。※2.リチウムイオン蓄電池ユニット(6.7kWh・屋内)品番:LJB1367を含むシステムは2023年夏以降に対応します。※3.片相:3.0kVA。※4.接続する蓄電池ユニットにより出力が異なります。※5.2023年夏 受注開始予定。※6.環境周囲温度が動作温度範囲内であっても、以下の通り充電が制限される場合があります。40℃付近の環境が継続した場合、更なる内部温度上昇を防ぐため、蓄電池残量が満充電に達する前に、充電を一時的に待機する場合があります。放電直後も同様に充電を一時的に待機する場合があります。自動的に再開されるまでお待ちください。また環境周囲温度によって蓄電池残量表示の変動が大きくなる場合があります。
注)蓄電池用コンバータ、V2HスタンドはV2H蓄電システム eneplat専用です。創言連携システムS+等には接続できません。



住宅用 太陽光発電・蓄電システムウェブサイト



AiSEG2ウェブサイト



電気自動車(EV・PEHV)充電設備「ELSEEV:エルシーヴ」ウェブサイト

パナソニック株式会社 エレクトリックワークス社 エナジーシステム事業部

〒571-8686
大阪府門真市門真1048
© Panasonic Corporation 2023

- 本カタログからの無断複製はかたくお断りします。
- 商品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。
- 印刷物と実物とは多少色味が異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

このカタログの記載内容は2023年2月現在のものです。

掲載価格は希望小売価格です。
取付設置費等は含まれておりません。
ご購入の際には別途取付設置費がかかります。

ZBCT1B119LJ 202302-2XKN 第2版

パナソニックグループは環境に配慮した製品づくりに取り組んでいます。

Panasonic GREEN IMPACT



⚠️ 安全に関するご注意

●ご使用の前に、「取扱説明書」をよくお読みいただくか、お買い上げの販売店または専門施工店にご相談の上、正しくお使いください。●このカタログに掲載の商品は、使用用途・場所などを限定するもの、専門施工を必要とするものがあります。お買い上げの販売店または専門施工店にご確認ください。

パナソニックと誤認させて、電話勧誘したり、強引に販売する住宅設備・建材の訪問販売業者にご注意ください。

訪問販売や電話勧誘販売は消費者保護を目的とした法律※の適用を受けます。

●特定商取引法(旧訪問販売法)※ ●消費者契約法(消費者と事業者が結んだ契約全てが対象です)※

◎当社製品のお取り扱い方法、お買い物、その他ご不明な点についてのご相談は

電設資材商品ご相談窓口 ●受付時間:月～土/9:00～18:00 日・祝日・年末年始は休業 ※携帯電話からもご利用いただけます。

個人のお客様 ☎️ 0120-878-082 ●左記番号がご利用いただけません ●FAXはこちら ☎️ 0120-872-460

法人のお客様 ☎️ 0120-187-431 ●左記番号がご利用いただけません ☎️ 06-6904-4574

※ご使用の回数(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。※所在地、電話番号、受付時間などが変更になることがあります。

AiSEG2/スマートHEMSに
関するお問い合わせ

住宅エネルギー
システム ご相談窓口

☎️ 0120-081-701
【受付時間】365日/9:00～18:00

※携帯電話からもご利用いただけます。
●左記番号がご利用いただけません
06-6780-2099

【ご相談窓口における 個人情報のお取り扱い】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただきます。ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくために発信番号を通知いたしております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。